

とやのがた 鳥屋野潟公園整備事業

受賞機関 新潟県土木部都市局

はじめに

新潟市周辺では年々都市化がすすみ、野に咲く花々や小川のせせらぎなど、子供の頃に親しんだ自然は失われていく一方である。そこで、少しでも自然とふれあう機会を増やし、さらにはふるさとへの思い出を持ち続けてもらうために、鳥屋野潟公園が都市計画決定された。今回、全建賞をいただいた総合スポーツゾーンは、レジャー・競技スポーツの需要の高まりから、国体や国際級スポーツ大会にも対応できる多目的スポーツ施設・各種競技施設を持つ区域である。

事業の概要

都市公園名：新潟県立鳥屋野潟公園

(区域名称：新潟県スポーツ公園)

工事期間：平成4年4月～平成13年4月

事業費：73,022百万円(スタジアム建設費含む)

事業の特徴

特徴としては大きく分けて 環境 景観 リサイクルの3つが挙げられる。

環境

本公園は多くの野鳥が訪れる鳥屋野潟に隣接していることから、潟に近い所には大型の建造物や照明を極力配置せず、野鳥の生態に配慮した。

また、スタジアムのトイレと公園内の散水には中水を利用し、3カ所に配置の池の水源には雨水をあてるなど有効に活用している。



ライトアップされたカナル



芝生広場よりスタジアムを望む
(手前の石積みは姫川災害で発生のものを利用)

景観

様々な距離からの景観を考慮して、公園計画を立てている。特に、スタジアムなど大きな建物が威圧感を与えないよう、空間構成と樹木の配置を工夫した。

さらに、新潟らしさや風土を意識して建物の意匠や樹木の種類などを決めている。

リサイクル

盛土については、一次造成は鳥屋野潟の浚渫土を、二次造成には河川・港湾・農地事業等と連携して流用土を使用し、不足分のみ購入土とした。加えて植栽土についても、田んぼの表土を再利用した。

また、修景池や生態園の池などの自然石は、災害で発生した姫川の石を使用している。

開園以来、多くの方が来園して様々な活動を楽しんでいる。特に、多目的運動広場は人気施設で芝生の管理に苦労しているが、これからも多くの県民に愛される施設に育っていくように願っている。



県立鳥屋野潟公園